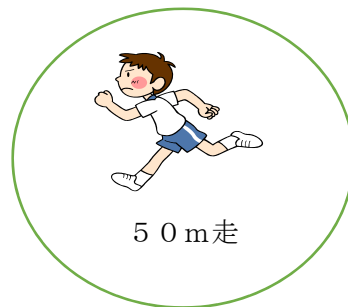
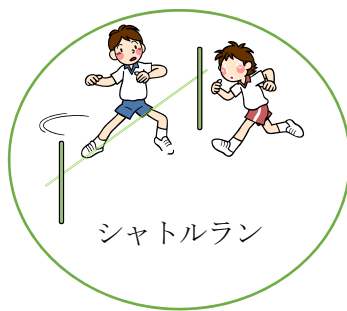




全国体力・運動能力、運動習慣等調査

結果の概要

令和元年度



令和2年3月

柳川市教育委員会

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要

令和元年 2月 柳川市教育委員会

I 全国体力・運動能力調査結果の概要

1 体力テスト種目及び体力要素 (調査対象は小学5年生、中学2年生)

種目	要素	種目	要素
①握力 (kg)	筋力	⑤20mシャトルラン (回)	全身持久力
②上体起こし (回)	筋パワー・筋持久力	⑥50m走 (秒)	疾走能力
③長座体前屈 (cm)	柔軟性	⑦立ち幅跳び (cm)	筋パワー・跳躍能力
④反復横跳び (点)	敏捷性	⑧ボール投げ (m)	巧緻性・投球能力

※ 小学生の場合、全身持久力は「シャトルラン」を実施

※ 中学生は「シャトルラン」か「持久走」のどちらかを選択 (両方実施した場合は得点の高い方で評価)

2 体力合計点の状況 (全国及び福岡県との比較)

※ 上記8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化し、合計点の平均値を算出

※ **網掛け部分**は全国平均値を上回った数値、**枠囲み**は下回った数値 (以下同様)

令和元年度	小学校 (5年)		中学校 (2年)	
	男子	女子	男子	女子
柳川市 平均値	57.02	59.07	42.62	50.13
(前年度)	57.50	59.51	44.11	51.75
福岡県 平均値	54.41	56.20	43.16	50.19
全国 平均値	53.61	55.59	41.69	50.22
市と全国平均値との差	+3.41	+3.48	+0.93	-0.09

○ 本市は小学校、中学校男子で全国及び県平均を上回っている。今回、中学校女子が全国平均を下回った。

3 各種目の状況 (全国及び福岡県との比較)

【小学校5年男子】

※ 50m走は数値 (秒) が少ないほど上位。

種目	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ボール投げ (m)
柳川市	16.41	22.50	33.18	45.28	58.05	9.31	158.23	24.73
福岡県	16.62	20.29	33.74	42.19	52.21	9.42	150.54	22.79
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61
全国との差	+0.04	+2.70	-0.06	+3.54	+7.73	-0.11	+6.78	+3.12

○ 長座体前屈以外は全国平均を上回り、良好な状況である。特に20mシャトルラン (全身持久力) 及び立ち幅跳びは全国平均をかなり上回っている。

【小学校5年女子】

※ 50m走は数値(秒)が少ないほど上位。

種目	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 跳び (点)	シャト ルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅跳 び (cm)	ボール 投げ (m)
柳川市	16.82	20.43	37.24	43.72	45.62	9.46	151.70	15.26
福岡県	16.49	19.44	37.96	40.70	42.05	9.66	144.40	13.94
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61
全国との差	+0.73	+1.48	-0.38	+3.58	+4.83	-0.18	+6.02	+1.65

○ ほぼ男子と同様の結果となっている。昨年度、女子の長座体前屈は近年で初めて全国平均を上回ったが、今回は下回り、これまでの傾向に戻った。

【中学校2年男子】

※ 50m走は数値(秒)が少ないほど上位。

種目	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 跳び (点)	シャト ルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅跳 び (cm)	ボール 投げ (m)
柳川市	29.53	27.32	40.65	51.11	90.95	7.98	195.72	21.22
福岡県	29.35	27.29	44.01	52.95	86.36	7.98	197.75	20.78
全国	28.65	26.96	43.50	51.91	83.53	8.02	195.03	20.40
全国との差	+0.88	+0.02	-2.85	-0.80	+7.42	-0.04	+0.69	+0.82

○ 全国平均を上回る種目が多く、概ね良好な状況といえる。昨年度、全国平均を上回っていた反復横跳び(敏捷性)は本年度、下回っている。一方、上体起こし(筋持久力)は昨年度、下回っていたが本年度は上回る結果となった。

【中学校2年女子】

※ 50m走は数値(秒)が少ないほど上位。

種目	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 跳び (点)	シャト ルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅跳 び (cm)	ボール 投げ (m)
柳川市	23.79	22.67	44.31	45.49	61.40	8.72	170.51	13.69
全国	23.79	23.69	46.32	47.28	58.31	8.81	169.90	12.96
全国との差	±0	-1.02	-2.01	-1.79	+3.09	-0.09	+0.61	+0.73

○ 今回は変動が大きかった。前回、全国平均を上回っていた握力と反復横跳びが全国平均を下回り、全国平均を下回っていたシャトルランが全国平均を上回る結果となった。

4 体力合計点平均値の経年比較

※ () 内は全国平均値

児童生徒		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
小5年	男子	57.24 (54.16)	+3.08	57.50 (54.21)	+3.29	57.02 (53.61)	+3.41
	女子	57.70 (55.72)	+1.98	59.51 (55.90)	+3.61	59.07 (55.59)	+3.48
中2年	男子	45.08 (42.11)	+2.97	44.11 (42.32)	+1.79	42.62 (41.69)	+0.93
	女子	52.51 (49.97)	+2.54	51.75 (50.61)	+1.14	50.13 (50.22)	-0.09

○ 本市の児童・生徒の合計点平均値は、ここ4年間、全国平均を上回ってきた。また、全国平均値との差も広がる傾向を続けてきたが、今回、中2年女子が初めて全国平均値を下回る結果となった。

II 全国運動習慣調査結果の概要

ここでは、日常生活における個々の児童・生徒の運動の状況ならびに小・中学校の体育科授業に関して児童・生徒質問調査の結果を抽出し、集計している。

1 質問項目の内容

※ 児童・生徒への質問項目（小学校・中学校とも：26項目）

※ ゴシック体で示したものは、本市において特徴的な結果項目を示す

小 学 校	中 学 校
① 運動が好き	① 運動が好き
② 運動して楽しいと感じるとき	② 運動して楽しいと感じるとき
③ 運動は大切	③ 運動は大切
④ 中学校で授業以外に自主的に運動したい	④ 中学校卒業後、自主的に運動がしたい
	⑤ 運動部やスポーツクラブの所属
	⑤-2 運動部活動が占める時間
⑤ 体育の授業以外の運動やスポーツの時間	⑥ 体育の授業以外の運動やスポーツの時間
⑥ 朝食を食べる	⑦ 朝食を食べる
⑦ 1日の睡眠時間	⑧ 1日の睡眠時間
⑧ 平日のテレビ・ビデオ・DVDの視聴時間	⑨ 平日のテレビ・ビデオ・DVDの視聴時間
⑨ 運動部やスポーツクラブの所属	⑩ 休みにスポーツクラブ外で体を動かすこと
⑩ 休みにスポーツクラブ外で体を動かすこと	
⑪ 体育の授業は楽しい	⑪ 保健体育授業は楽しい
⑫ 体育の授業では、たくさん動く	⑫ 体育の授業では十分に体を動かしている
⑬ 体育授業の目標が示されている	⑬ 保健体育授業の目標が示されている
⑭ 体育授業で振り返る活動を行っている	⑭ 保健体育授業で振り返る活動を行っている
⑮ 体育授業で助け合う活動を行っている	⑮ 保健体育授業で助け合う活動を行っている
⑯ 体育授業で話し合う活動を行っている	⑯ 保健体育授業で話し合う活動を行っている
⑰ できるようになったきっかけ	⑰ できるようになったきっかけ

⑮ 動きを撮影して活用する活動しているか	⑮ 動きを撮影して活用する活動しているか
⑯ 授業で練習や場を選んでいるか	⑯ 授業で練習や場を選んでいるか
⑰ 授業以外にも行ってみようと思うか	⑰ 授業で学んだことを授業外でも行うか
⑱ 体育授業の内容は将来に役立つか	⑱ 授業の内容は将来役に立つか
⑳ 向上に向け、目標を立てているか	⑳ 向上に向け、目標を立てているか
㉑ オリンピック・パラリンピックへの気持ち	㉑ オリンピック・パラリンピックへの気持ち
㉓ 最後までやり遂げてうれしかったことがある	㉓ 最後までやり遂げてうれしかったことがある
㉕ 失敗を恐れないで挑戦する	㉕ 失敗を恐れないで挑戦する
㉗ 自分にはよいところがある	㉗ 自分にはよいところがある

2 本市において特徴的な調査結果

※ **網掛け部分**：全国平均を上回る、もしくはグラフでみた場合の最上層を示す

枠囲み：全国平均を下回る

【小学校5年】

質問① 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」

%	好き		やや好き		ややきらい		きらい	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全国	71.2	55.5	22.1	30.9	4.6	9.0	2.0	3.3
福岡県	71.8	55.8	21.7	31.6	4.5	8.6	2.0	3.4
柳川市	77.3	56.1	18.5	31.1	3.1	8.0	1.0	2.3

○ ここ数年、男子は全国に比べて「好き」が上回り、女子は全国に比べて「好き」が下回っていたが、今回、初めて女子も上回った。

質問⑤ 「体育の授業以外で運動やスポーツをどのくらいの時間していますか。」
(一週間の総運動時間)

時間	男子	女子
全国	558.1	349.6
福岡県	590.2	358.7
柳川市	553.0	359.6

○ これまで男子、女子ともに全国平均を下回っていたが、今回、初めて女子が上回った。

質問⑥ 「朝食は毎日食べますか」

%	毎日食べる		食べない日もある		食べない日が多い		食べない	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全国	82.2	82.3	13.6	13.9	2.6	2.2	0.7	0.5
福岡県	78.6	78.2	15.6	16.3	3.8	3.4	1.5	0.7
柳川市	80.4	80.3	18.2	18.9	3.5	3.0	2.1	0.4

○ 男女ともに「毎日食べる」が全国と比べてやや下回っており、ここ4年間、この傾向は変わらない。

質問⑧ 「平日の視聴時間」

〈男子〉

%	5h～	4～5h	3～4h	2～3h	1～2h	～1h	0h
全 国	15.5	9.4	14.2	20.2	24.2	14.2	2.2
福岡県	16.8	9.2	13.9	20.3	24.4	13.2	2.1
柳川市	8.8	5.6	8.8	26.3	30.2	17.5	2.8

〈女子〉

%	5h～	4～5h	3～4h	2～3h	1～2h	～1h	0h
全 国	9.3	7.6	12.0	18.1	26.4	23.2	3.5
福岡県	9.6	8.0	12.4	17.8	26.8	22.5	3.1
柳川市	2.7	6.8	9.1	16.3	29.5	32.2	3.4

○ 男女ともに全国や県と比べて短いといえる。

質問⑨ 「体育授業の目標（めあて・ねらい）が示されているか」

%	示されている		ときどき示されている		あまり示されていない		示されていない	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全 国	49.4	47.4	34.5	36.5	11.1	12.1	5.0	4.0
福岡県	45.2	43.4	36.4	38.4	12.7	13.9	5.6	4.3
柳川市	49.6	45.4	36.2	38.5	10.6	14.6	3.5	1.5

○ これまで「示されている」と答えた児童は全国と比べると男女ともに下回る傾向が続いていたが、今回、男子が上回った。同じ授業を受けているにもかかわらず、男女間の回答の開きが大きかったが、今回、その差は小さくなっている。

質問⑩ 「自分にはよいところがある」

%	当てはまる		どちらかといえば 当てはまる		どちらかといえば 当てはまらない		当てはまらない	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全 国	44.1	36.9	34.3	40.6	13.1	15.3	8.5	7.2
福岡県	44.3	36.5	34.0	40.0	13.2	16.1	8.5	7.4
柳川市	47.3	35.1	33.2	46.2	10.2	13.7	9.2	5.0

○ 男女ともに自己肯定感が低い傾向が続いていたが、今回、初めて男子が上回った。男女間の開きが大きい傾向は依然続いている。

【中学校2年】

質問① 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」

%	好き		やや好き		やや嫌い		嫌い	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全 国	62.9	46.9	26.5	32.3	7.1	14.3	3.5	6.6
福岡県	63.9	45.2	26.8	34.2	6.5	14.2	2.8	6.4
柳川市	66.2	36.5	28.1	37.3	3.9	20.2	1.7	6.0

○ 男子は全国に比べて「好き」が上回り、女子は全国に比べて「好き」が下回る傾向が続いている。また、全国と同様の傾向だが、男女間で相当な開きがある。

質問⑥ 「体育の授業以外で運動やスポーツをどのくらいの時間していますか。」
(一週間の総運動時間)

時 間	男子	女子
全 国	834.7	609.9
福岡県	909.7	620.5
柳川市	1004.5	574.3

○ 昨年度と同じく、男子は全国平均を上回り、女子は下回っている。また、男女間の開きの程度は全国よりも大きい。

質問⑦ 「朝食は毎日食べますか」

%	毎日食べる		食べない日もある		食べない日が多い		食べない	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全 国	81.6	78.2	13.4	17.3	3.4	3.3	1.6	1.2
福岡県	78.9	75.2	14.7	19.4	4.4	4.0	2.0	1.4
柳川市	85.6	78.8	11.4	17.6	1.3	2.7	1.7	0.8

○ これまでと異なり、男女とも「毎日食べる」が全国と比べて上回った。

質問⑨ 「平日の視聴時間」

〈男子〉

%	5h～	4～5h	3～4h	2～3h	1～2h	～1h	0h
全 国	12.2	8.6	16.9	27.0	26.3	8.1	1.0
福岡県	12.1	7.4	16.1	26.9	27.9	8.8	0.9
柳川市	7.6	8.0	19.0	29.5	30.0	5.9	0.0

〈女子〉

%	5h～	4～5h	3～4h	2～3h	1～2h	～1h	0h
全 国	10.4	8.5	16.5	25.8	26.9	11.1	0.9
福岡県	10.7	8.2	15.9	24.9	28.0	11.2	1.0
柳川市	9.0	7.1	14.5	29.0	28.2	11.8	0.4

○ 小学校同様、男女ともに全国や県と比べて短いといえる。

質問⑬ 「保健体育授業の目標（めあて・ねらい）が示されているか」

%	示されている		ときどき示されている		あまり示されていない		示されていない	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全 国	62.4	60.6	27.3	28.5	7.4	8.6	2.8	2.4
福岡県	60.7	58.1	29.0	31.2	7.6	8.4	2.7	2.3
柳川市	62.2	62.3	28.8	31.7	7.7	5.6	1.3	0.4

- これまで、「示されている」と答えた生徒が全国と比べると男女ともに上回ってきたが、今回、男子が若干下回った。小学校と比べると、男女間の開き具合が小さい。

質問⑭ 「自分にはよいところがある」

%	当てはまる		どちらかといえば 当てはまる		どちらかといえば 当てはまらない		当てはまらない	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全 国	37.2	22.8	38.5	44.1	16.0	22.2	8.2	9.3
福岡県	35.5	20.0	39.5	43.8	17.0	25.2	8.0	9.3
柳川市	30.7	13.6	41.1	37.3	17.7	33.7	10.4	13.5

- 昨年度同様、男女ともに自己肯定感が全国平均を下回る傾向が続いている。

Ⅲ 全体考察

1 成果

- 経年でみると全国と同様、合計点平均は昨年度まで上昇傾向だったが、小・中の男女ともに数値が落ちている。しかし、全国平均値との差でみると、小学校の男子・女子及び中学校の男子は上回り、中学校の女子もわずかに下回る程度であり、本市の児童・生徒の体力・運動能力は概ね良好といえる。
- 種目別にみると、「シャトルラン」（全身持久力）において、小・中学校男子・女子ともに全国平均を大きく上回り、この傾向はここ数年続いている。加えて、小学校の男子・女子は「立ち幅跳び」（筋パワー・跳躍能力）においても同様の傾向が続いている。また、ここ数年の課題であった「上体起こし」（筋持久力）も改善傾向を示している。
- 要因として、本市教育大綱に「健全な身体をつくるスポーツ活動の推進」を挙げ、学校教育においては目標値を掲げ体力向上の取組の充実を図ってきたこと。また、このことを受けて、「1校1取組」による朝の運動や業間体育の取り組みや体育授業において課題改善に向けた体づくりの運動などを取り入れるなどの体力向上策、基本的な生活習慣や遊びを含めた日常的な取り組みが考えられる。

2 課題

- 全体的にみると、全国同様、これまで上昇傾向を続けていた合計点平均が、本市でも一転して数値を落とした。このことについてスポーツ庁は、要因としてスマートフォンの普及などに伴い、子ども達の運動時間が減少していることなどを挙げている。
しかし、本市においては平日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの

画面を視聴している時間は小中とも全国より短い結果となっている。運動時間についても、本市では、ここ数年、全国平均を下回ってきたが、本年度は小学校女子、中学校男子が上回った。

したがって、本市においては全国にみるような要因は当てはまらないといえる。

- 特徴的な点として、自己肯定感が挙げられる。本年度初めて小学校男子が上回ったものの、ここ数年、小中とも全国を下回る傾向が続いてきた。このことは、全国学力、学習状況調査においても同様である。学校訪問時の調査データでも、しばしば見受けられ、教職員は賞めているつもりでも、児童生徒はそう感じていない傾向がある。自己肯定感と体力との相関関係を調べてみると、「運動が好き」との回答ほどでもなく、体力の低下要因を、この点に求めるわけにはいかないが、本市においては各学校で、学力向上の面からも一層、「賞めて育てる」意識を持って指導に当たることが大切であろう。
- 種目別にみると、ここ数年継続して「長座体前屈」（柔軟性）が全国平均を下回る傾向が続いている。今後、改善に向け、体ほぐしの運動や柔軟体操、ストレッチなどを一層、充実する工夫が望まれる。また、運動が苦手でも児童生徒（特に女子）が運動やスポーツが楽しいと感じる取組を探り、体力向上や運動習慣形成を図る方策の検討が必要である。